

# 新基地建設反対!

## 美しく海を守ろう

世界で最も危険な基地と言われている普天間基地の移設先として、沖縄県名護市の辺野古の海を埋め立てて新基地を作る計画が進んでいます。沖縄県知事選や名護市長選で示された民意とはまったく逆の政策を、強引に政府は推し進めています。辺野古の埋め立てを阻止するための座り込み活動を支援するために、同会の職員や友の会からも多くのかたが支援に行っています。

### 辺野古支援活動に参加して

7月5日、6日に新基地建設に反対する辺野古支援活動に参加してきました。1日目は平和学習として、ひめゆりの塔や沖縄県平和祈念資料館を巡りました。そこで戦争の悲惨さに触れ、70年前の日本ではこんなにも残酷なことが起こっていたのかと思う心が締め付けられる思いでした。そして2日目に辺野古へ



辺野古の新基地予定地の説明を聞く参加者



辺野古での座り込み

向かい、支援活動に参加しました。その際に現地の方からお話を聞く機会がありました。そのお話ではマスコミで報道されている内容と事実は異なるというものでした。マスコミでの報道は何の疑いもなく正しいものだと思います。その事実が驚きました。今回の支援活動に参加し、本当に正しい情報を取捨選択できるような能力を身に付けなければいけないと強く感じました。日本が二度と戦争をしない平和な国であり続けるために、自身にできることを考えていきたいと思っています。(歯科衛生士 堂本実花)

## 健康づくり委員会 春のハイキング

### 平城宮跡をゆっくり探訪

今年のハイキングは、古の都平城宮跡を訪れました。6月14日(日)、総勢39人が2台のマイクロバスに分かれて出発。心配していた天気も何とかセーフ!現地に着いて、しっかりとストレッチ運動をした後スタート。あつという間に最初の目的地平城宮資料館に着きました。我々を待ち構えていたかのような、ボランティア解説員さんによる案内で館内を見学しました。

その後昼食を間に挟みながら、第一大極殿・遺構展示館・東院庭園・朱雀門と約4kmのハイキングを楽しむことができました。が、敷地内に田んぼや畑はもとより、近鉄電車が走っていたのは驚きでした。今回は歩く距離が短く、ゆっくりと解説付きで展示物を見て回ることができて良かったです。また、第一大極殿からの景色に、遠く平城京に想いを馳せ、心もリフレッシュできました。最後もしっかりストレッチ運動で締めくくり、無事ハイキングが終了しました。(事務局)



第一大極殿の前で

## 医療の現場から Vol.6

耳原総合病院 サポートセンター 太田 斉子

### 患者さまの「これから」について

そろそろ暑くなってきましたが、みなさま体調などいかがでしょうか? 温度と湿度が高くなると、体は疲れやすくなり、食欲もなくなり、熱中症にかかりやすくなります。病院にも「食欲がない」「動けなくなってきた」「寝ていても体が熱い」「水分をしっかりと取る、食欲がなくても少しずつでも食べやすいものを食べる、湿度や温度に気を付けるなど」など、病院内で診察されてきています。水合わせがありました。内容は「長年外国にいた家族が帰国したのだが、ずいぶん衰弱している。向こうでも病院にかかったらいい。」さて、話は変わりますが、先日患者さまのご家族から、診察依頼の問い合わせがありました。原因はよくわからない。受診させたいが長年外国にいたので、保険証もなければ、住民票も昔住んでいたところのもので変更しないといけないなど、いろいろ障害がありどうしたらよいかと役所に相談したら、『みみはらに相談してください』と言われたのでお電話しました。そのかたは翌日受診され、検査や治療のために入院となりました。医療・福祉・生活すべてに対してサポートすることはできませんが、相談に来られる方が、相談にいられる方が、患者さまの「これから」のことについて一緒に考えていける、そんな病院でありたいと思います。



熱中症対策なども 西区浜寺諏訪森町中 浅野ひろ子(65歳) 健診のお知らせなどがあり助かりました。年末には偶数年齢となるのでがん検診も行くつもりです。熱中症対策などもこれから気をつけねばと思います。こうした記事は本当に助かります。

民主医療活動が連動して 大阪市天王寺区 吉田良男(58歳)

戦前の軍国主義への回帰という世の中の動きと、民主医療活動が連動して、軍国主義を二度と許さないという主旨がとてもよい。 気持ちだけは前向きに 西区上野芝向ヶ丘町 和崎秀子(65歳)

近年の地球規模の自然の驚異に小さな存在である人間は右往左往しています。気持ちだけは前向きに。 平松 澄子



元気な声で手拍子

大阪市阿倍野区 永井由美子(73歳)

老健でのカラオケの時間でもいつも静かに座っている利用者さん。六甲おろしが流れたとたんに元気な声で手拍子。今年はタイガー優勝して元気を下さいと。



中野 キヨ子

友の会はその入り口に

北区藏前町 堀江陽子(63歳)

パッチワークを通して楽しい集いができ、そしてなんでも話せるようになればまちづくりの活動につなげていきたい。友の会はその入り口になってくれます。 病気を機に 大阪狭山市大野台 長尾加代(67歳)

週一回心臓リハビリに通っています。皆様のおかげで、体力も気力も回復してきました。病気を機に身辺整理も始めました。生活スタイルを見直し、毎日朝7時30分から30分のウォーキングもしています。